

■1 夏休みの学習について

高校最後の夏休みを迎えることになりました。この夏の過ごし方が大切です。「夏に基礎力をしっかりと鍛えた者が、秋に総合的な受験学力が向上し、冬の入試本番で力を発揮できる」といわれています。

重要なのは「自学自習」です。講習等の授業形式は講義を受けているだけで勉強したような気になってしまいがちです。しかし受け身でやらされている勉強では本当の力はつきません。自分の頭でしっかり考え、理解し、覚えることでしか「本物の学力」は身に付きません（夏期講習を上手く活用できるかどうかはあなた次第です）。1日の学習時間のほとんどが講義を受けるばかりなんてことのないようにしましょう。自学自習していて、どうしても分からない所が出てくれば先生に質問するのもいいでしょう。自分の記述答案の添削指導をお願いするのも効果があります。自分の学習ペースで着実に一歩ずつ進んでください。

◎ 具体的なポイントは以下の通りです。

① 全統模試(記述、マーク)、スタディーサポートの結果や前期中間考査を分析して自分の得意・不得意教科、分野を把握する

模試の結果は、志望校の判定で現在の自分の学力との距離を認識するだけでは不十分です。全統模試成績表の各教科・科目、総合1国文 国理、総合1国文6-8型 国理6-8型、文系 理系で自分の学力レベルを把握しよう。現在の学力で、全体の総合1学力レベルがSなら難関大学、A~Bなら大阪公立大学を狙うことができます。学力レベルC~Fの場合、苦手な教科・科目の分野を把握し、これからの学習で補強していく必要があります。1~2か月でE→Sレベルへの学力アップは難しいので、夏休み明けには現在の学力レベルより1~2段階くらいアップできれば、学習の進み具合は順調と言えるでしょう。

苦手教科・科目の中でも、特にどの分野・単元が弱いのか把握し、この夏休みに補強しましょう。この対策なしに学力レベル(S~F)のアップは期待できません。3年の夏に基礎というと、出遅れていると感じるかもしれませんが、教科書レベルの「基礎」は「初歩」ではありません。実力が付いてくると、結局基本に立ち返ってくるということがわかるはずです。本格的な入試問題も基礎の融合になっている場合が多いのです。夏に基礎を固めることは出遅れていることではありません。自分の身の丈に合わない勉強をして空回りすることが一番もったいないですから、目標との距離を把握し、「自分が今どのレベルの勉強をするべきか」を押さえて下さい。

記述模試とマーク模試の学力レベル(S~F)に差がある人もいます。その原因をきっちり分析すること。記述模試は良い成績だがマーク模試は苦戦している場合、共通テスト特有の出題形式に対応できているのかということになります。英語・数学・国語では共通テストの過去問演習をしています。本試験・追試験に関係なく問題を解いて自分に足りないものを確認し、それらを強化すること。

② 自分にあった教科・科目ごとの学習法を確立させる

得意な科目、不得意な科目で取り組む問題のレベルは当然違います。全統模試で学力レベルC~Fの基礎力が不十分な科目は、教科書レベルの基本強化です。基礎をきっちり補って、普通レベルにしましょう。教科書や学校で購入した問題集に何度も取り組んでください。学力レベルS~Aの学習が進んでいる得意教科。科目は赤本や青本等の過去問(2年分くらい)など、より高いレベルの課題・問題にチャレンジしてみましよう。2次試験や私大入試で求められているゴールが分かると今後の勉強も逆算できます。『進路の手引き』の「合格体験記」なども参考にして、自分なりの学習法・学習ペースを確立しよう。

③ 1週間単位で重点項目を定め、2～3日間で全科目を勉強する(軽重をつけて)

志望大学の受験科目・配点は頭に入っていますか。入試科目の比重は大学・学部により異なるので、それを頭に入れて学習計画を立てること。つい得意教科・科目ばかり勉強してしまう人も多いでしょう。逆に、不得意教科・科目ばかりという勉強をすると、得意教科の力が落ちてしまいます。苦手教科と得意教科で時間の長短のアクセントをつけながら、2～3日間で全科目に取り組めるよう工夫しましょう。

④ 教科ごとに具体的な目標(問題数や暗記する単語数など)を決めて取り組む 学習の質と量に注意

1日○○時間と決めても、つい時計を進めるためにダラダラとかスマホを触りながらなんてことのないように。集中した学習ができて、その日やるべきことが終われば、勉強を切り上げるのもアリです。学習の質と量はどちらも大切です。計画通り学習が進まないことも当然あるので、計画を修正する柔軟性も必要です。週に1日は、学習計画の調整日を設けるのも良いかもしれません。

⑤ 規則正しい生活と集中できる場所での勉強

起床・就寝・食事時間を固定しよう。計画的に勉強をやるためには自己管理が必要になります。学期中の生活リズムを崩さないことがポイントです。自分の勉強部屋、地元の図書館、高校の自習室、塾予備校の自習室など一番集中できる場所でやろう。

⑥ 上手く気分転換しよう

勉強に疲れたら、ストレッチなど、体を動かすのもストレス解消にはいいでしょう。ゴールはまだまだ先です。オーバーペースにならないよう、自分なりの学習ペースで進みましょう。ONとOFFのメリハリをつけることも大切です。スマホも気分転換にはいいかもしれませんが、1日1時間など時間は制限するべし。オープンキャンパスも大学・学部研究に役立ちます。第1第2志望の大学をまだ見学していない人は気分転換とモチベーションアップも兼ねて、ぜひ見学に行こう。



■2 夏休みのスケジュールリングのコツ 「綿密さ」より「柔軟さ」! ※参考文献 旺文社『蛍雪時代』

STEP1 夏休み中に「やるべきこと」を検討し、書き出す。

科目別に、現状の学力、到達度も踏まえて、夏休み中に取り組むべき学習課題を考え、書き出す。

定期考査・模擬試験で明らかになった自分の弱点、共通テストや志望大学の入試で特に取り組むべき単元や課題を可視化することが重要。

STEP2 「どの週に何をやるか」を振り分け、週単位の計画を立てる。

書き出した課題全体を夏休みの週数で分割し、「どの週に何をやるか」をざっくりと計画する。週単位に区切ることで、大まかな流れや量がイメージできる。毎日14時間みっちりなど、余裕のない計画は無謀です。

STEP3 週単位の計画を「1日ごとに」割り振る。

週単位に振り分けた課題を、さらに1日ごとに割り振る。この日に何をやるか」が決まっていると、毎朝やることを考える時間が省ける。仮に振り分けるつもりで、完璧で綿密な計画を目指さない。

STEP4 立てた計画をとりあえず1週間やってみる。

1週間分の計画を実行してみる。「1週間」で課題をやればよしとし、1日単位で一喜一憂しない。

STEP5 「やった or やってない」を記録し明確にする。

終了した学習内容を消して、やったことを明確化。どの学習にどれくらいの時間がかかったかを記録す

ると、時間と学習のボリューム感覚がつかめる。

STEP 6 過不足があれば、計画を適切に調整する（柔軟性）。

1週間を振り返り、盛り込みすぎたと感じたら次週以後の計画を調整する。「計画→実行→調整」を繰り返しながら、臨機応変に進めていくことが大切。

スケジュールリングの3つの鉄則

鉄則① 計画・課題は「書く」、そして何
度も「見る」

鉄則② 計画は「仮」で立て、完璧を求
めない

鉄則③ 計画立案に時間をかけすぎな
い(大事なのは「計画の実行」)



◆ 各教科からの夏休みの学習アドバイスです 【英語】

夏休みにぜひやっておくべきこと

「絶対基礎力を固める！」と言ってしまえば簡単なのですが、この基礎力を身につけることが最も困難なことです。入試会場でも最も君たちの味方になってくれるのはこの「絶対基礎力」です。

英文を正しく読める力を身に着けるために必要な3項目

英語の入試問題で問われていることは「入試レベルの英語が正しく読めますか?」です。

1) 文構造を正しく把握する。

「入門英文精講」をまずは授業でやった問題から復習していく。藤岡の土曜講習を受講している人は今までやった問題の英文をノートに書き写し、もう一度、文構造、文法、単語（品詞、文脈）を意識して書いてみる。

2) 英文法

POWERSTYSAGE で接続詞、関係詞、不定詞、動名詞、分詞、動詞の語法（これらは文構造に大きく関係する項目）そして、他の自分が苦手な文法項目から復習する。その際、少しでも疑問に思った部分は即、質問に来ること。一通り、文法の復習が終わったら、ランダム問題集（文法項目がバラバラの問題集）を使って学習するのが好ましい。ランダム問題集を演習したい人は藤岡の所まで。

3) 英単語

もちろん、英単語だけを覚えても英語が正しく読めるわけではないが、英文を読むのに単語を知らなければ読めないのは言うまでもない。必ず品詞を意識し、MINIMAL PHRASE を使って覚えていく。一人でひたすら覚えていくのもいいが、友達同士で単語クイズの出し合いをして楽しみながら覚えていくのもいいだろう。

【数学：理Ⅰ】

○ 宿題について

提出することが目的ではなく、問題を解くことで自分の知識として定着させることが目的です。サクシードの提出は不定積分までですが、クラスによっては夏休みまでに定積分すべて習い終わるところも

あるので、できるところからどんどんやっておきましょう！

○ 過去問について

余裕がある人は2～3年解いてみたらいいと思いますが、基本は秋以降で構いません。まずは目の前の基礎固めをしっかりと行いましょう。

○ バランスについて

夏休みは数Ⅲだけ！はよくありません。数Ⅲ：数ⅠAⅡBC＝7：3ぐらいの割合で考えてください。

ⅠAⅡBCの学習について、具体的には...

- ・授業で扱ったクリアーⅠAⅡBCの問題の解きなおし
- ・共通テスト過去問を5年分（計10回）解いてみるあたりを進めていきましょう！

【数学：文系/理Ⅱ】

7・8月は基礎を徹底できる「最後の機会」

○ 宿題について

それぞれ志望校が違うので最低限の宿題です。詳細は授業で連絡します。

○ 勉強全般について

- ・共通テスト、2次試験のどちらに対しても勉強のキーワードは「反復」です。知識が定着するように、少なくとも3回は「反復」しましょう。自分の勉強方法が確立しており、教材を「反復」できている人はそのサイクルのスピードを上げていきましょう。う。まだ「反復」の態勢に入っていない人は相談して下さい。
- ・共通テストに向けては、苦手分野がないよう、広く基礎固めを行いましょう。余裕がある人以外は、まだ共通テスト形式の演習に取り組む必要はありません。

○ 過去問について

第1志望のものは手元に準備しましょう。解答するのは秋以降で構いませんが、見ておきましょう。

【国語】

まず、**完璧主義を廃**することが大切です。「日々、やれる限りのことをやる他はない」ということを肝に銘じましょう。

その上で、現代文(論理的文章・文学的文章)・古文・漢文・実用文、とも共通して言えることは、

本番の受験会場で、生まれて初めて見る文章が出題されても、問われる知識や解答技術は、概ね、1年次から今まで君たちが取り組んできた、模試・プリント教材・問題集(「基礎・錬成現代文」「プログレス基礎・標準」)・定期考査・小テスト(「核心漢字」「げんたん」「古文単語」)からのものでしかない。

ということです。

特に、模試・プリント教材・問題集・定期考査の実力問題については、解説書(プリント)にしっかりと知識・解答技術が丁寧に書かれています。「**即効性**」という罫に飛びつかず、これらのうちのいくつかを自分で選んで、実際に文章を読み、問題に答えることを再度、丁寧に言い、復習・間違い潰しをしっかりと行いましょう。

また、国語の試験は、共通テスト、国公立大二次、私立大学の全てにおいて共通した問いは「次の文章を読んで後の問いに答えよ」です。さらに制限時間があるわけですから、必ず「**速読力**」が求められます。これは、文字づらを速く追うことではありません。「読み」と「意味」が連動して、「わかりながら読む」速さのことをいいます。この速さを獲得するのに、**特効薬なるものはありません**。「読む力は、『わかりながら読む』ことを(できれば)毎日、自分に課す中で、自身の『わかりながら読む』スピード自体が、自然と上がるのを待つ他はない」と認識しましょう。**上記教材の本文で、繰り返し読解作業を反復練習することは、速読力向上の上で有効な方法の一つです。**

但し、問題を解くために読むわけですから、何に向かって読解作業を進めるのかについての目標は意識しましょう。凡そ以下のとおりです。

【評論】	筆者の主張 → 古文の【和歌評論】についても同じ
【随筆】	筆者の心情(の変化)
【小説】	登場人物の心情(の変化)
	→ 古文・漢文については、【物語】【日記】系があてはまる

また、古文・漢文は、文法・句法・副詞・複合語・返読文字の**基礎知識をきちんと獲得**しましょう。そして、特に古文を読むときは、**主体判定**作業を常に意識しましょう。

これらのことを**持続して実行**していくための基盤は、何と言っても**生活の姿勢とリズム**です。一日一日を大切にしましょう。

【日本史】

■ 学習のポイント

共通テストの正誤問題・年代並び替え問題に対応するには、自分の頭に判断の基準となる正確なデータを入れて（インプットして）おく必要があります。テストでは、頭の中のデータと問題文とを対照させて判断することになります。最後は、自分のこれまでの日本史データを信じるしかないので、覚えておくべき歴史用語（事象）は暗記すること。

年代（年号）は、神経質になりすぎる必要はないが、自分にとって判断の基準となる年代は必ず覚えておくように（例：桓武天皇 794年平安京、宇多天皇・菅原道真 894年遣唐使派遣中止）。まず政治史で、政権担当者（天皇・摂関・将軍・執権・首相）を中心に各時代の大きな流れをつかもう。次に政治史と関連づけながら対外関係史（前近代史は中国・朝鮮との関係、近現代史では条約改正・戦争史も）をおさえよう。近現代史では、歴代内閣とその業績の理解・暗記は必須です。前近代史では、文化史も政治史や対外関係史と関連づけよう。古代・中世では仏教を、近世では儒学・政治社会思想・洋学・国学などをよく確認すること。仏像・寺・絵画などの美術史は教科書・授業プリントを基準にしてください。文化史は後回しにせず、必ず学習すること。

教科書の理解と暗記（インプット）ができれば、『共通テストトレーニング』でセンター・共通テスト過去問を解こう（アウトプット）。解答を確認する際、単に○×を確認するのではなく、1問ずつ自分が納得できるまで教科書・プリント・用語集で確認すること。間違った問題、誤解していた部分などをチェックして、整理しておくのとテストの時に役立ちます。『トレーニング』は最低3周はやってください。定期考査、模擬試験（マーク式・記述式）にももう一度チャレンジしよう。

■ 夏休みのポイント

共通テストでは、古代・中世・近世史はほぼ同じ比率で出題されますが（約2割ずつで計約55%）、近現代史は問題数も多く配点も高いです（約45%）。夏休み中は、2～3年1学期に学んだ古代・中世・明治時代の復習を徹底して行うこと。7月21日からの日本史講習では、私大、センター、共通テスト過去問を時代別に解いてもらい、2年と3年1学期に学習した内容を復習・確認します。

日本史の場合、演習で丁寧の前近代史を復習する最後の機会なので、参加してください。

7月31日の第2回全統共通テスト模試の範囲は、旧石器～江戸の天保期です。第1回は原始・古代史の出題量が多かったですが、次は中世史・近世史からも出題されます。授業で習ったところはこまめに復習しておくこと。「既に学習した所は模試では間違わない！」つもりで勉強すること。1つ1つを確実にしよう。

国公立大2次試験や私大を日本史で受験する人は、『新日本史研究ノート』、一問一答式問題集や用語集を活用して、歴史用語を漢字で覚えること。但し、歴史用語のみをひたすら覚える学習はNGです。各時代の歴史の変化、文化の特色は、教科書を読み込んで理解するしかありません。教科書学習と問題演習を balan

スよくやること。

国公立2次試験で論述問題のある人は、過去問に取り組みながら答案の作成方法を身につけましょう。その際、教科書の要約・まとめが有効です。各大学の出題傾向は異なるので、詳細は、担当者に相談してください。

夏休み明けの授業は、さらにペースも早くなるのでこまめな予習・復習が必要です。授業の前に教科書に目を通しておくこと。そして授業を集中して受講し、授業後に自分でしっかり復習。このリズムを確立させよう。夏休み講習の続きは、後期の通常講習で行います。11月末には全範囲の授業を終了し、その後はひたすら入試本番に向けた演習・復習を行います。

【世界史】

夏休み 世界史の勉強法

Google drive 79期世界史探究（共有）にはプリント等を入れてありますので、ご参考に！

※歴史総合 世界史分野の学習法は drive を見てください。以前に classroom でも配信済み
世界史の勉強「方法」は同級生に協力いただいて示しましたので、ここでは「強度」を示しておきます。

○ 目標

既習範囲の90%を覚える

- ・2027年『実戦攻略 大学入学共通テスト問題集』
- ・『ウィニングコンパス』
- ・各自持っている一問一答問題集など

教材はお任せ。ただしいずれの場合も
根拠をもって90%解答できる状態

※ 一問一答だけは危険！

問題形式が解けない恐れ。

○ 基本的な考え方

- 少ない回数でできるようにはならない。少しずつ塗りつぶす過程で90%をめざすイメージ。
完璧主義 NG！
- 同じ範囲ばかりやらない。必ず既習範囲全部に触れる。広い範囲の方が“世界史”としての理解が進む。
- 各単元（縦の流れ）の把握が優先。同時代（横のつながり）の繋がりはその後。
横は因果関係＋年代が有効。

○ 世界史学習における必須項目

- 文章的理解に努める
 - ・教科書を「読む」というのは、字を追うことではありません。背景・原因・きっかけ・結果・影響・5W1Hがどこかを探しながら、教科書を読んでください。探せたら印をつけると良いです。人名、制度名、地名などが瞬間的に判別しづらいのが世界史です。「人マーク」「場所マーク」などを自分で決めて書くことをオススメします。単純な作業ですが、自分で自分に理解させる重要な行為です。
- 一問一答の勉強では、逆一問一答もやる
- 年号暗記プリントは必ず覚える

○ 文章選択問題わかっているかチェック（解答番号をおぼえちゃった...無意味。とならないために）

- ・【レベル1】 誤文について・・・何を何に変えれば正文になりますか？
- ・【レベル2】 教科書のどの辺に書いてあったとイメージできますか？
- ・【レベル3】 成文について・・・何を何に変えれば受験生を混乱させれそうですか？
- ・【レベル4】 すべての選択肢（選択肢の文）について、自分で解説できるか？
- ・【レベル5】 「問題作成者は何を問いたいのか」を、前後の歴史的過程から推察できますか？
※レベル1～5のどこまで到達しなければならないというのはないですが、基準としてご参考に。

記憶 (参考として)

以下は、一問一答形式かどうか、に関わらず学習行動への参考になればと思って書いたものです。

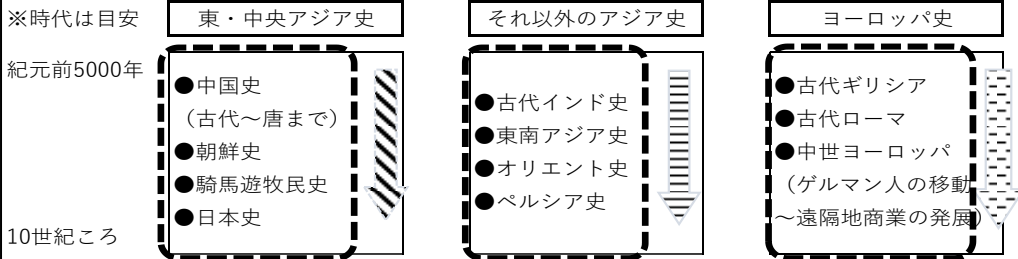
- 範囲を絞って、3回以上繰り返す。 ① → ①・② → ①・②・③ → ②・③・④ → ③・④・⑤
- 共通点を見つける。 ○ パターンを見つける。 ○ 語呂合わせ ○ 人に説明する。
- スピード重視で、完璧主義は禁物。
- わからないところは飛ばす。あとで、わからないところだけ集中的に覚える。
- 全範囲が終われば2回目に入る。この段階から負担がかなり減る。

人間は忘れる生き物です。忘れることを怖がらないでください。忘れることを前提にして忘れる量より覚える量を上回らせることでしかカバーできません。記憶は能力ではなく、技術です！

世界史学習の見取り図 ～79期 既習・未習範囲～

【1年】 近現代ヨーロッパ史を勉強しました。(帝国主義～第二次世界大戦終結)

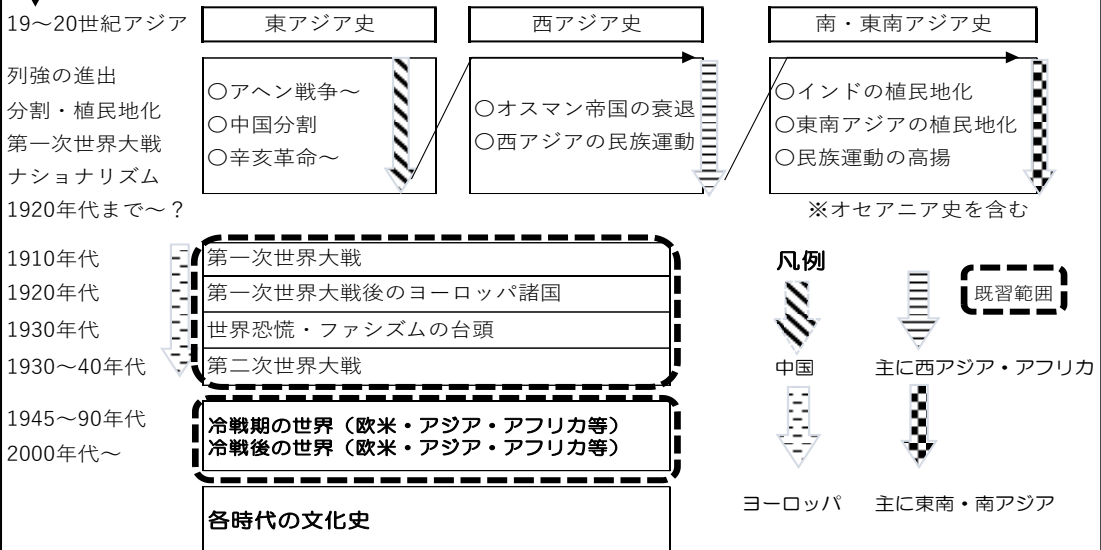
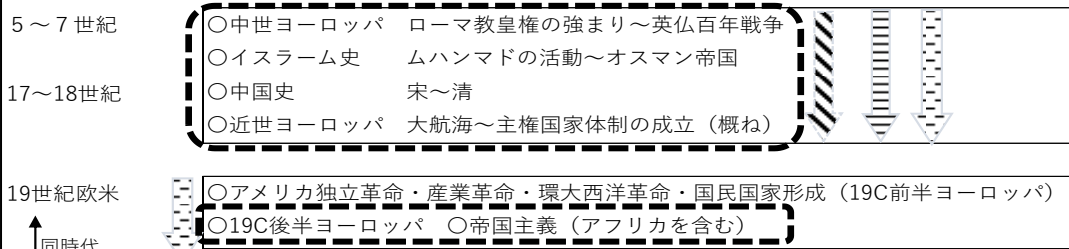
【2年】 10世紀までの世界を勉強しました。



【春休み】 1・2年で学習した4ブロック中、2～3ブロックは復習する。

3年の4月中に、残り1～2ブロックを復習する。(GWに第1回全統マーク模試)

【3年】 3年では残りの範囲を勉強しましょう。(※日本史部分も含む)



【地理】

<とにかくやること>

- 地理総合・地理探究（夏休み前まで）で学習した分野を復習する
 - ⇒地図・時差・国家・国家間の結びつき・交通・情報・地形（大地形・小地形）・地形図・気候は地理総合で学習済み
 - ⇒人口・都市・村落・農業・林業・漁業は地理探究で学習済み
 - ⇒各プリント、教科書・資料集の該当ページも確認
- 上記記載の分野についての問題演習をしておく
 - ⇒ウイニングコンパスで上記記載の分野の問題を解いて、解答解説をみておく
 - ⇒理解できるまで解説を読む
- Yahoo ニュース等で最新の国際情勢を確認する（見出しは絶対に確認）
 - ⇒最新の情勢を知っていると知らないのでは問題を解くスピードや得点が変わる
- よく出てくる国、知らない国についての基本的な情報をデータブックの巻末で確認
 - ⇒すべての国の情報が載っています。知らない国は必ず確認すること。

<勉強する際に留意すること>

- 知らない国名・地名が出てきたら必ず地図帳で位置を確認する
 - ⇒地理の基本中の基本。ここを怠ると得点は伸びません。取り組むのみです。
- 知らない用語が出てきたら必ず辞書等で調べる
- 問題は、問われているものだけでなく全ての選択肢を確定し選択した理由を説明できるようにする
- 統計は、データブックで最新のデータを確認する
 - ⇒参考書を見ている人は要注意・・・2～3年前のデータです。統計は必ずデータブック！
 - ⇒数値自体を覚える必要はない。他国と比較をすることが大事です。問題は他国・他地域との比較が多く問われます。その数値が他国と比べて多いor少ないのか、どのような変化をしているか（ex1980年と比べて2020年はどのようにになっているのか）を見る、なぜその数値になっているかを自分なりに考えること・・・この時に各国の基本情報を知っているかがカギとなります。

とにかく、上記記載の事項に取り組めるかにかかっています。授業の様子を見ていると、復習や各国についての知識が足りていません。共通テストはマーク式ですが、知識が必要です。基本的な知識があることが問題に正解できる大前提です。夏休みのように時間がある時に取り組まないと、手遅れになります。皆さんの頑張りを期待しています。わからないことがあれば、上垣内先生もしくは小谷まで聞きにきてください。

【倫理】

内容について

これまでに授業で扱った分野（源流思想～社会契約説）については、よく復習をして、内容を自分のものにしてください。また、2年次に学習した公共についてもよく復習しててください。夏休み明けの授業に関係する内容もありますので、予習になります。青年期については夏が復習できるチャンスです。青年期について授業内で扱うことはありません。

現代の諸課題、心理学については夏の講習で扱いますが、講習に参加しない人は必ず、自分で学習を進めてください。

学習方法について

- ① 思想家の名前・単語をそのまま覚えるのではなく、「(人物)は、〇〇と考える思想を提唱した。その思想の特徴は△△を□□と捉えるもので…」というふうに「文章的理解」を心がけてください。「文章的理解」をするためには、教科書を音読したり、学習したことを誰かに説明したりする形で復習することが有効で

す。

また、資料集のコラム。解説欄も読むことを意識してください。普段の学習ではじっくり読む機会はないと思いますので、今がチャンスです。今までの理解をより、深くするものとして読みましょう。(読み物としてもおもしろいです。)

- ② 「実践攻略」(問題集)も解きなおしてください。その際に、どうして誤りだとわかるのか、教科書のどの部分を見ればよいのか等、調べながら行いましょう。(①の実践ですね)

【公共】

教科書と資料集を、活用することを心がけてください。Web や生成 AI も便利かもしれませんが、時に信憑性に欠ける記述が混在する場合があります。共通テストは、教科書と資料集に掲載されている学習事項を基に出題されます。ここは原点に戻って、以下のような点に留意して、教科書と資料集をしっかりと活用してください。

1) 繰り返しを大切に

1度「講習で聴く／問題の答え合わせをする」だけでは、理解が深まらず、内容の定着も期待できません。講習や問題演習、模試があった日に、プリントを横に置いて、教科書や資料集の該当するページを1度読み直すだけでも学習効果が上がります。

資料集には、たくさんの(教科書以上の)情報が掲載されています。講習や模試で取り上げられた学習事項について、資料集ではどのような具体例が掲載されているか、教科書とセットで活用してください。抽象度の高い学習事項について、知っている具体例を増やすことは、共通テストで求められる、資料・図表の読み取りや理解力の伸長に役立つでしょう。

2) 「わからない」は発展のスタート；「今回は間違えない！」を目標に。

また、講習や問題演習、模試でわからない用語が出てきた場合、資料集や教科書の巻末の索引を活用して調べて、該当ページを開いて、掲載されている内容や解説を関連づけて理解を深めておきましょう。学習した知識を、関連する文脈の中で活用する力を伸長させることに役立つでしょう。

さらに、模試や講習の問題演習で、わからなかったことや間違えた内容や原因を、「間違いノート」にまとめて、見返してみると、自分の理解が足りないところ、繰り返して学習すべき事項が「見える化」できますよ。

【物理】

長いようであつという間に過ぎ去る夏休みですが、この1か月の時間の使い方が大切なのは、言わずもがな。物理においては、授業でよく話している、真ん中近くのストレートボールを打てるようにすることは必須、真ん中から外れた際どいストライクゾーンのボールをどれだけ打ち返していけるかが勝負になります。

現段階で、自分はどの状態なのかをしっかりと把握しましょう！

基本公式を用いた基本の問題でつまづいているのか、

(⇒ど真ん中のストレートボールを打ち返せない)

基本公式を組み合わせた複合問題や本質を理解しているかを問うような問題でつまづいているのか、

(⇒際どいストライクボールを打てない)

自分の立ち位置をしっかりと把握しましょう。

また物理は、単元ごとに集中して取り組むことをおすすめします。

例えば、「運動量」と決めたら、運動量の問題だけを徹底してやることです。

単元を決めたら、その単元は、かなり（8割ぐらい）できるようになった！といえるようにして次に進む。
そうやってできることを増やしていく方が確実な力はつきやすいと思います。

以下、参考に取り組んでみてください。

① 共通テストのみが必要な人（物理基礎・物理）

リードα物理基礎・物理の基本例題・基本問題を徹底的にやりましょう！

単元ごとに最低2回、最高3回はくり返すぐらいやりましょう。

チェック&演習にすでに取り組んでいる人もいるかもしれませんが、こちらは後期授業からも扱っていきますので、あまり早くから取り掛からなくても大丈夫です。リードαが完璧になって、時間に余裕があれば取り組んでいくぐらいが良いと思います。

② 2次・私大（記述）まで必要な人

①と同様。それに加えて、リードαの応用問題や「良問の風」に取り組みましょう！

とにもかくにも『力学』は、全範囲しっかりやりこむこと！

余裕のある人は、熱・波・電磁気（既習範囲）もこの夏休み期間を利用して進めるようにしましょう！
それらも十分にできてきている人は、「重要問題集」を購入し、A問題から取り組んでいきましょう。

【化学】

【文系化学】

授業では化学基礎の全範囲について、基礎～標準的な難易度の問題を演習しており、知識や計算技能のアウトプット中心に学習しています。夏休みは、抜けの多い内容をしっかりインプットするのに絶好の機会です。ただし、教科書を読んだり、動画で視聴したりするだけでは復習したことにはなりません。該当範囲を問題集（セミナー、ピーライン）等で解き、解答解説を読み込んだうえで反復的に学習しましょう。
とにかく手を動かしましょう！

【理系化学】

高校三年生の夏休みに、教科書の今まで習った範囲の本文をすべて読み（『参考・応用』は除く）、問題をすべて解き直しました。その結果、それまでなんとなくわかっていたつもりになっていたことが、しっかり理解できるようになり、テストの点数が高い位置で安定するようになりました。難しい問題にチャレンジするのも悪くはありませんが、実はあいまいな基本事項を固めることを強く勧めます。セミナーの基本例題をすべて解くのもそれほど重くなくていいと思います。（基本例題は、受験で化学を使う人は、今の時点で絶対にスラスラと解けないといけない問題です。） 図説の見開き2ページを毎日読み進めるのも、難関大学を合格した先輩たちがやっていたので、いい取組だと思います。

【生物】

【文系生物】

生物基礎の現象・しくみ・用語などはすでに学習済みです。夏休み明けから、共通テストに向けた演習を行い、初見のグラフを読み取る力やリード文を整理する力を養っていきます。なので、生物基礎の知識は夏休み中に頭に入れていないと、かなりしんどいです。夏休みは思考力をつける勉強よりも、教科書を再度、2～3周読み返してください。理解できていないところをマーカーで強調したり、ノートにまとめるなどして知識をしっかりとつけてきてください。

【理系生物】

高校で学習する内容は一通り学習済みです。夏休み明けから、教科書の第1部～第5部（進化・代謝・DNA・環境応答・生態系）の範囲を順に二次試験の問題演習をしていきます。問題演習をしつつ、知識の補完を行います。これだけでは当然不十分です。夏休み中に、最低、第3部までの用語・現象・仕組み

などの概要は理解しておくこと (他教科とのバランスも大事ですが、余裕のある人は全範囲やりましょう)。具体的にはセンサーの STEP 2 レベルは難なく解ける力を身につけること。授業プリントや教科書を再度読み返し、センサーで理解できているかの確認をしましょう。まとめノートの作成をお勧めします。また志望校の過去問を時間を計って約3年分は解き、大学の特徴をつかみましょう。夏休み明けの授業で志望校を意識しながら解くことで、伸びが全然、変わります。

- ※ 共通テストのみの人は共テ演習を急いである必要はありません。センサーSTEP2 のレベルは難なく解けるように。(共通テストの問題が難関大学の二次試験に近年、似通ってきています。夏休み明け二次試験の演習を行います、かなり共テを解く力が付きます。共テ対策さえすれば大丈夫だと思わないように…)
- ※ 二次試験で生物がいる人は生物基礎の復習も怠らないようにしましょう。多くは生物と分野がかぶっていますが自律神経系・内分泌系・植生と遷移などは生物基礎のみの単元になるので注意。(生物とかぶっている単元だが、生物基礎でのみしか扱わないものもあります。生物基礎の教科書をすべて一読し、整理しましょう。)
- ※ 生物基礎のみの人は教科書を復習し、センサーが難なく解けるようにしておきましょう。

【情報 I】

- ① 志望する大学の共通テストの情報 I の配点率はもう調べていますか？
- ② 模試でわからなかったところの復習はできていますか？
- ③ WINSTEP 問題集で問題演習はできていますか？

夏休みのⅢ期 (7/27(月)~31(金)) に共通テスト情報 I 対策の夏期講習を実施します。

7 9 期情報 I の Classroom に夏期講習 5 日間の予定を送っているので、確認しておいてください。夏期講習で使用するプリントは LAN 教室前のロッカー上に置いておきます。受講できなかった人は取りに来てください。

◆ 「79期 休日自習/講習」について

- ※ ★……ルーティーンメニュー(7/25迄)
白紙テキストと助詞の暗唱・漢文プリント(副詞/複合語/返読文字・句法 1~5)音読・訳語トニョク
- ※ ◆……**新**ルーティーンメニュー(8/2~)
漢文「二重否定」獲得トニョク
句法 1~5 音読・訳語トニョク
- ※ **全統共テ**……問題冊子を持ってきてください。演習形式で行います。
- ※ **全統記述**……問題冊子を持ってきてください。演習形式で行います。但し、2025 年度の二回分については、問題・解説共にこちらで準備します。
- ※ 実戦現代文……**二巡目**に入ってます
有名国公立大・私立大の過去問演習
記述答案の作成(共通テストの正解の選択肢の作成)の力を養成するための正に実戦演習
教材は、こちらで準備します。関連書籍を持参。
- ※ 上究古典……**国公立二次・関関同立対策**の古典講習
(共テ対策にも有効です)
『上究古典』を、古文→漢文→古文→漢文……とやり進めます。□内の数字は単元番号
理系の希望者は、夏期講習のアンケートで希望してください。プリントでテキストを配付します。
- ※ 講習は各日、終了時間の 2 時間前から開始です。
- ※ 講習の予定の変更の場合、Google Classroom 「79 期 3 学年」か『学年通信』で連絡をします。

注意！……講習の内容・時間を変更しています

日	時 間	場 所	講 習
7/11(土)	7:30~16:30	至誠	★+上究古典 17
12(日)	7:30~12:00	〃	★+実戦現代文⑪⑫
18(土)	7:30~16:30	〃	★+上究古典 13
19(日)	7:30~15:00	〃	★+実戦現代文⑨1
20(月)	7:30~12:00	〃	★+実戦現代文⑨2
25(土)	7:30~16:30	〃	★+実戦現代文⑬⑭
26(日)	/		
8/ 1(土)	7:30~16:30	〃	全統共テ① 一
2(日)	7:30~12:00	〃	◆+実戦現代文⑮
3(月)	7:30~15:00	〃	◆+実戦現代文⑯1
4(火)	〃	〃	◆+実戦現代文⑯2
5(水)	〃	〃	◆+実戦現代文⑰1
6(木)	〃	〃	◆+実戦現代文⑰2
7(金)	〃	〃	◆+実戦現代文⑰3
8(土)	7:30~16:30	〃	全統共テ① 二
9(日)	7:30~12:00	〃	全統共テ① 四
10(月)	7:30~15:00	〃	全統共テ① 三 五
11(火)	7:30~12:00	〃	全統記述① 一
12(水)	7:30~15:00	〃	全統記述① 二
13(木)	〃	〃	全統記述① 三
14(金)	〃	〃	全統記述① 四
15(土)	7:30~16:30	〃	全統記述① 五
16(日)	7:30~12:00	〃	2025 全統記述② 一
17(月)	7:30~15:00	〃	(自習のみ)
18(火)	〃	〃	〃
22(土)	7:30~16:30	〃	2025 全統記述② 三
23(日)	/		
29(土)	7:30~16:00	〃	(自習のみ)
30(日)	7:30~12:00	〃	〃

◆ 今後の予定

模試の申し込み・出願などは早めの対応を！

- 7/8(水) 午前授業(~7/16 木)・保護者懇談(~7/16)・夏期進学講習(~7/31)
- 13(月) 進路用証明写真撮影(13:00~ 多 I・多Ⅲ南 B)(予備日:7/15)
- 15(水) 国公立大推薦入試説明会
- 17(金) 60分授業・全校集会・講演会
- 26(日) 第2回全統共テ模試(校外・希望者)
- 8/19(水) 3年授業スタート(B水1,2,3)
- 20(木) 全校集会・大掃除(集会,B金1,B木4)
- 21(金) B水4,A金4,5,B金2,3・文化祭衛生講習会
- 23(日) 第2回全統記述模試(校外・希望者)
- 27(木) 60分午前授業(A木1,2,3)・SSH探究Ⅱ中間発表会
- 28(金) A金1,2,3,LHR(体育館設営)
- 31(月) 60分授業(B月1,2,3,B木1,2)
- 9/ 1(火) 60分授業(B火1~5)・指定校推薦選考会議 I
- 2(水) 60分授業(B水1~5)
- 3(木) 60分授業(A木4,B金5),文化祭前日準備
- 4(金) 文化祭(~9/5)
- 7(月) 代休
- 8(火) 65分授業
- 17(木) テスト一週間前
- 19(土) (9/23 水まで5連休 有効に使いましょう！)
- 24(木) 前期期末考査(~9/30 水)
- 10/ 1(木) 秋休み(~10/2)
- 4(日) 第3回全統記述模試(全員・校外)
- 5(月) 前期終業式・後期始業式・指定校推薦Ⅱ・国公立推薦選考会議